

半田市若者市民協働意識醸成事業

「^{がっ}学！コラボ2022」

事業実施報告書

目次

1. 若者市民協働意識醸成事業	P 2
2. 「学！コラボ2022」とは	P 3
・ 開催概要、参加N P Oの概要	P 4
・ 協賛団体	P 5
・ 開催実績	P 7
3. 参加N P O協賛金活用状況	P13
4. 「学！コラボ2022」フィールドワーク	P17
5. アンケート	P21

若者市民協働意識醸成事業

【目 的】

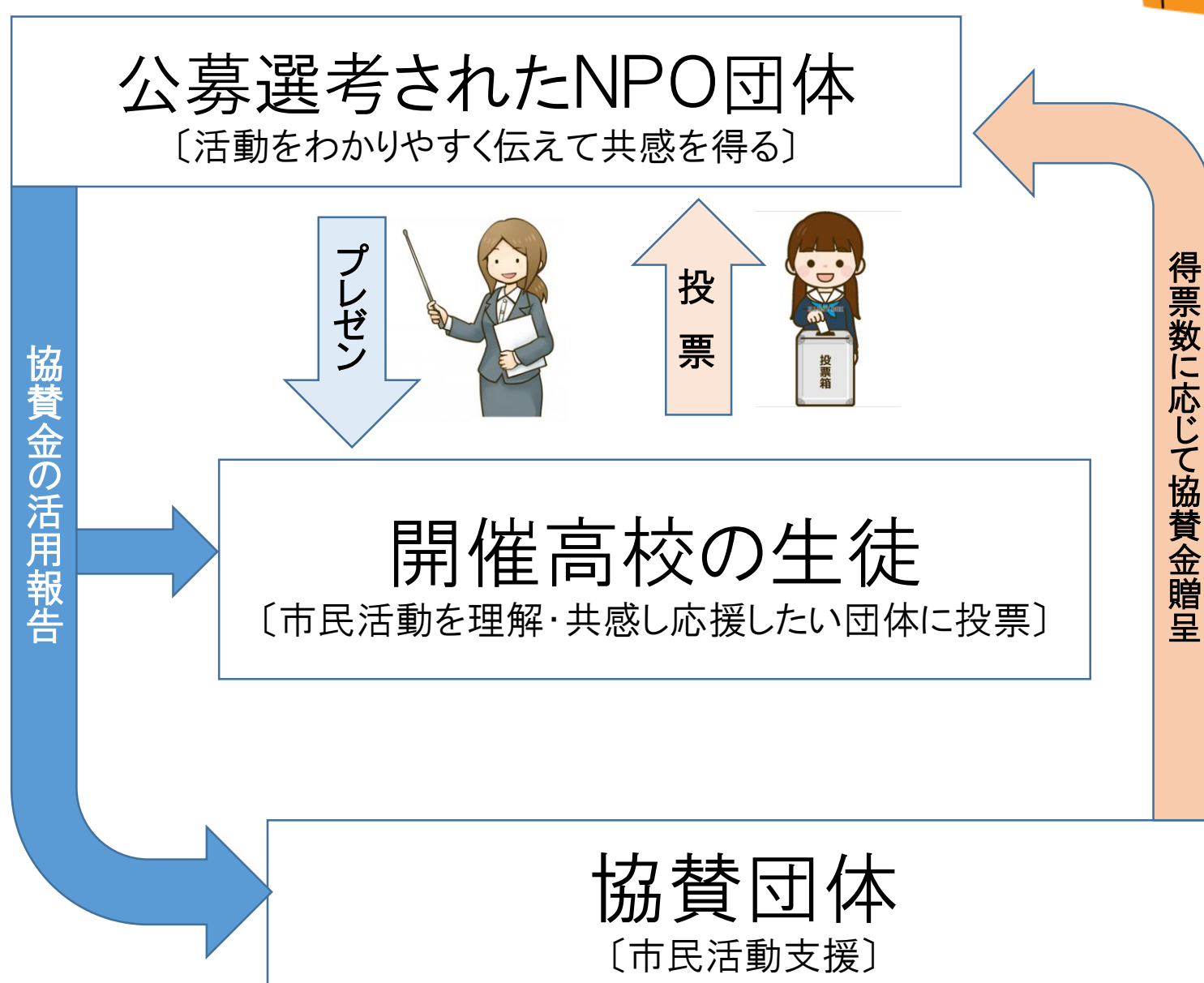
次代を担う若い世代（高校生）を対象に、市民活動の実態や活動支援の方法を理解してもらい、市民協働や社会貢献活動への参加につながるよう、協働意識の醸成を図ることを目的としています。

「学！コラボ2022」とは

参加NPOが若い世代（高校生）にも「伝わる」「共感を得る」ためのプレゼン能力向上研修を受け、半田市内の高校でプレゼンテーションを行いました。

それを聞いた高校生が「共感した。応援したい。」と考えたNPOに投票し、その得票数に応じて協賛団体から協賛金が贈呈されたほか、NPOと高校生との意見交換を行いました。

【学！コラボ2022のしくみ】



1.「学！コラボ2022」開催概要

(1)スケジュール

場所	開催日時	参加NPO
愛知県立 半田商業 高等学校	①2022年10月25日(火) 13:30～14:20	・ハンダーFOX製作委員会 ・雁宿小学校避難所運営委員会 ・NPO法人子どもたちの生きる力を のばすネットワーク
	②2022年11月 2日(水) 13:30～14:20	

(2)内 容

- ① ・社会課題や市民協働に関する講義
・参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
・生徒によるグループ討議
・各自で応援したいNPOへ投票
(得票数に応じて協賛金額を決定)
- ② ・結果発表と協賛団体の紹介
・協賛団体からNPOに協賛金贈呈 (得票数に応じて贈呈)
・生徒代表による選定理由発表
・NPOからお礼のことば
・生徒と投票先NPOとの意見交換

2. 参加NPOの概要

N P O 名	主な活動内容
ハンダーFOX製作委員会	・ご当地ヒーロー活動の運営
雁宿小学校避難所 運営委員会	・雁宿小学校を避難所指定している7町内会が協力し、避難所開設・運営が行えるマニュアルの作成 ・災害発生時、マニュアルにそった避難所運営
NPO法人子どもたちの 生きる力をのばす ネットワーク	・青少年支援活動事業 ・スタッフのカウンセリング研修事業 ・青少年の健全育成に関する事業

3. 協賛団体

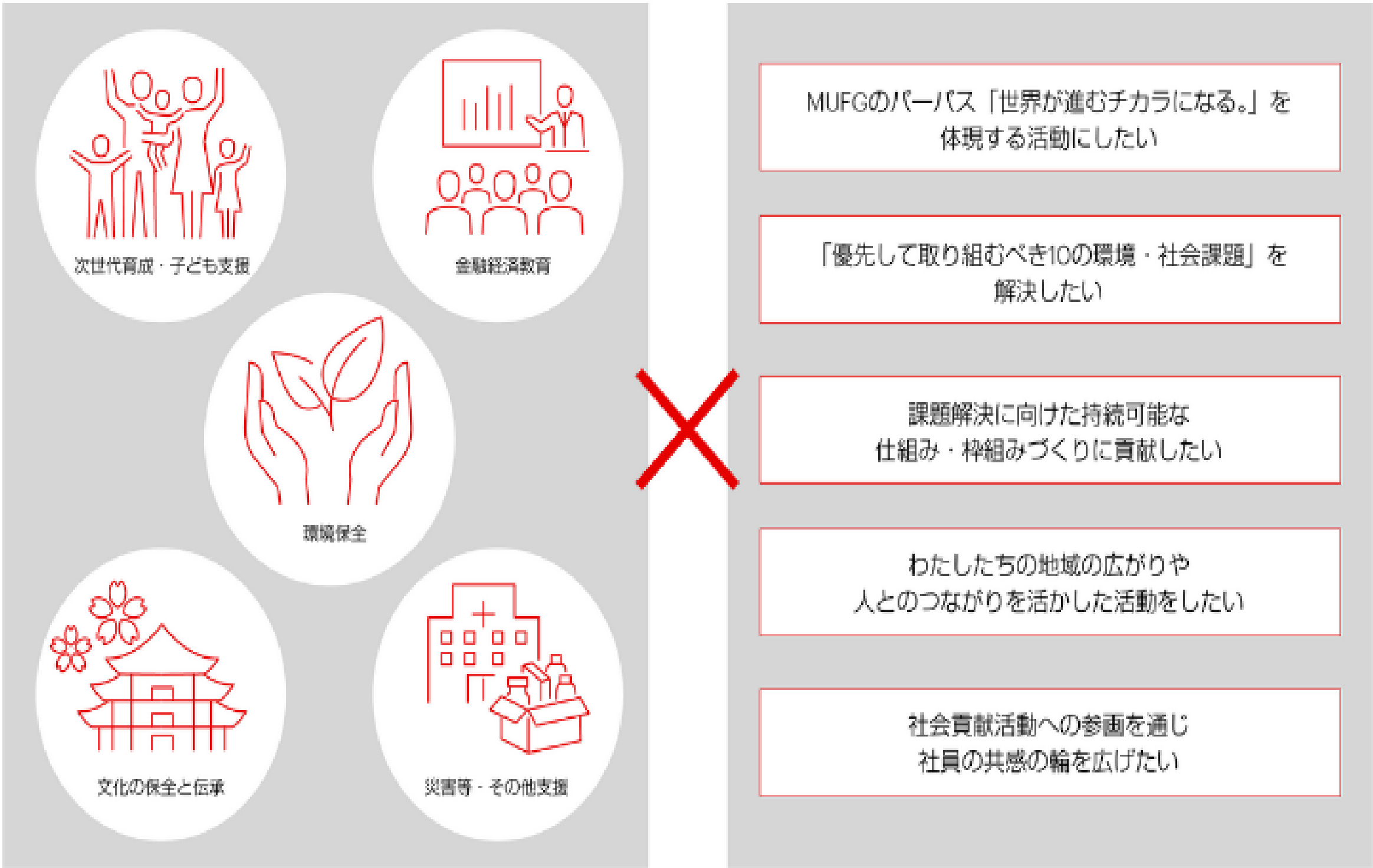
社会貢献活動に熱心に取り組んでおられ、本事業の趣旨に賛同された株式会社三菱UFJ 銀行半田支店様、八洲建設株式会社様から協賛金が贈呈されました。

【株式会社三菱UFJ銀行が取り組む社会貢献活動】

三菱UFJフィナンシャル・グループでは金融サービスと事業を通じた社会課題の解決と持続可能な社会の実現に取り組んでいます。一方で、ビジネスでアクセスしにくい社会課題に対しては、業務純益の約1%を活用し社会還元する枠組みを整え、寄附やボランティアによる社会貢献活動を実施しています。

5つの優先領域

5つの想い・こだわり



(MUFGホームページより)

八洲建設×SDGs アクションプラン [2030年目標]

気候変動や災害への
対策として、
脱炭素、循環型社会づくりを
中心とした取り組み



事業活動の使用電力に関する
再生可能エネルギー利用率

50%
(2040年 100%)



ZEH及びZEBの建設棟数

累計 **20棟以上**



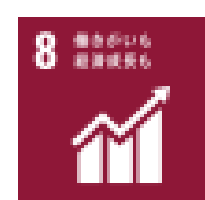
事業活動に基づく
温室効果ガス排出量

2018年比 **50%減**
(2040年 カーボンフリー達成)

八洲グループ
経営理念

もっと人へ。もっと多様に。
未来に誇れる街づくり。

働きがいを感じられる
多様性のある組織に向けた
働き方改革を
中心とした取り組み



週5日間工事率

100%



健康経営や多様性に関する

認証・認定取得



協力会社における
SDGs取組率

100%

■ 外部評価・認定

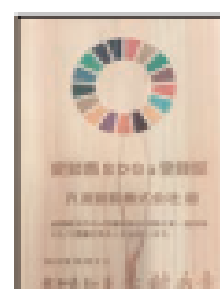


SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

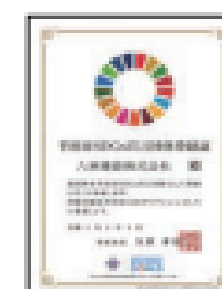
SCIENCE BASED TARGETS (SBT)

温室効果ガス削減目標
(1.5度目標)について、
SBT認定を取得しています。



愛知県SDGs 登録制度

愛知県SDGs
登録制度において
登録されました。



半田市SDGs 宣言団体

半田市SDGs
宣言団体として
登録されました。

4. 開催実績

(1)参加NPO募集

- 募集説明会開催
日時：8月19日（金）①15:00～16:00 ②18:30～19:30
場所：半田市市民交流センター

(2)NPO選考委員会開催

- 日時：9月1日（木）13:00～15:00
場所：半田市市民交流センター
結果：3団体選出（応募4団体）
選定の主な理由：高校生に親しみのある社会課題の解決に取り組んでいる 他



(3)NPOプレゼンテーション研修

公募で選定されたNPO3団体に対して、若者（高校生）に対して、より効果的なプレゼンテーションを実施し、伝える力の向上により、資金調達の向上にもつながるよう研修を行いました。

①全体研修：9月21日（水）15：00～17：00 オンライン(zoom)

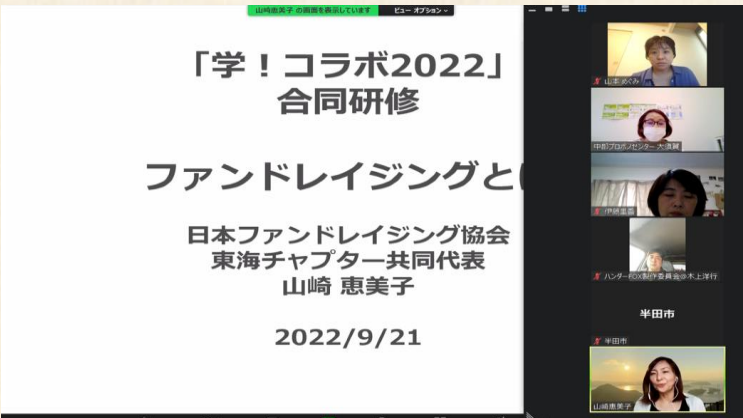
	内容	講師
1	共感するプレゼンテーション 「伝える」から「伝わる」資料づくり	別所 大介氏 (NPO法人中部プロボノセンター)
2	ファンドレイジングとは 事例紹介、自団体の整理	山崎 恵美子氏 (日本ファンドレイジング協会東海チャプター)

②個別研修：10月1日（土）9：30～12：25 半田市市民交流センター

	時間	NPO名
1	9:30～10:25	ハンダーFOX製作委員会
2	10:30～11:25	雁宿小学校避難所運営委員会
3	11:30～12:25	NPO法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

個別研修は1団体ごとに、全体研修でのプレゼンテーション資料作成のレクチャーに従い、それぞれが作成した資料を基に行われました。プレゼンテーションを実践しながら、全体の構成や言葉の選び方など、高校生により伝わるプレゼンテーションとするための研修を受けました。

①全体研修（オンライン）



②個別研修



(4)「学！コラボ2022」開催

場 所：愛知県立半田商業高等学校（武道場）

参加者：総合ビジネス科 2年生（1回目 47名、2回目 48名）

○1回目；日時：2022年10月25日(火) 13:30～14:20 〔50分〕

- ◇ 社会課題に取り組むNPOや市民協働について講義
- ◇ 参加NPOによる活動内容についてプレゼンテーション
- ◇ 生徒によるグループ討議
- ◇ 各自で共感し、応援したいNPOに投票

NPOや市民協働について、今年度の「若者市民協働意識醸成事業」実施業務を受託しているNPO法人中部プロボノセンターの大須賀事務局長による基礎講義が行われた後、NPO3団体からプレゼンテーションが実施されました。

基礎講義（NPO、市民協働について）



その後生徒間でグループ討議を行い意見交換をしました。

最後に個人が応援したい団体を決め、団体名・投票理由を記入し投票しました。

①生徒間でグループ討議



②個人で応援先を選び投票用紙に記入



③投 票



参加NPO

ハンダーFOX製作委員会（木上洋行氏）



地元の魅力を発見×創造×発信

☆私たちはエンターテインメントを通して地元のつながりを大切にして地域愛をはぐくむ取り組みをしています

- ①半田市の要素をふんだんに盛り込んだキャラクターショー
- ②地域とのコラボレーション
- ③青少年の活躍の機会の提供



地元を愛する人が増え、
地域のコミュニティが活発になる
まちづくりを目指す

雁宿小学校避難所運営委員会（山本めぐみ氏）



避難所の開設・運営はだれがする？

☆大地震はいつ起こるか分かりません
自分の「命」、大切な人の「命」を守り、
みんなで協力する事で、復興への道筋が
できるのではないのでしょうか？

☆高校生の皆さんにお願い

- ・まずは、防災について考える時間を作っ
て欲しい
- ・避難所や避難生活先（自宅避難・テント
避難・車中泊避難・親戚のお家など）で
自分が協力できる事を考える
- ・地域の避難訓練などに参加する

NPO法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク（伊藤里香氏）



フリースクールという居場所の中で -誰でもいつでもやり直せる大丈夫だよ-

☆のばす会はこんなところ

- ・ゆるやかな時間割
- ・異学年集団
- ・いろいろなスタッフ
- ・ゆったりとした時間の流れ

☆繭の時代から社会へ

- ・自己肯定感、自己選択 → 次の一歩

☆高校生の皆さんができること

- ・「のばす会」を知る
- ・周りの人に「のばす会」のことを伝える
- ・「のばす会」の活動に参加する

○2回目；日時：2022年11月2日(水) 13:30～14:20 〔50分〕

- ◇ 投票結果報告（投票数、協賛金）
- ◇ 協賛金贈呈（NPO3団体：目録贈呈、記念撮影）
- ◇ NPOからお礼のことば
- ◇ 協賛団体からのメッセージ
- ◇ 生徒による選定理由の発表（代表）
- ◇ NPOと生徒の意見交換（投票先NPOと投票した生徒）

協賛団体よりNPOに目録贈呈



参加NPO3団体



投票した理由を発表する生徒



投票したNPOに質問したり、補足説明を受けたり意見交換する生徒たち



投票結果

団体名	投票数	協賛金額
NPO法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク	24票	30,600円
雁宿小学校避難所運営委員会	18票	23,000円
ハンダーFOX製作委員会	5票	6,400円
合計	47票	60,000円

○参加者の声

半田商業高等学校 生徒

- ◇半田市のために沢山活動していて、他の県や市とも交流があると知ってすごいなと思った
- ◇地震が起こった時に自分でどうするかを考えて行動するのが大事だと気づいた
 - 家族と話し合うことが大事だと思った
- ◇不登校の生徒は沢山いるのだと分かったので、そういう状態にいる人たちに、今回知ったNPOの活動を知ってもらうことが私たち生徒自身ができることだと思った
- ◇それぞれの団体さんが色んな活動を通して、地域に貢献しているのがとてもすごいと思った
- ◇地震が起こった時とか、災害が起きた時のために、今のうちから自分でできることは準備して、いつ起きても大丈夫なようにしたいと思う
- ◇たくさんの方がより分かり、自分自身も行動する必要があると思った
- ◇もっと団体の活動などを理解し自分の出来ることを見つけたいと思った
- ◇自分の知らない所で、色々な方に支えられていることに気づかされた
- ◇3つの団体さんの内容などは違っていたが、どこもとても強い思念を抱いて、語っている姿がとても印象に残った

半田商業高等学校 先生

- ◇今回の市民活動団体のプレゼンは、高校生にとって理解されやすいものに感じ、生徒に伝わっていた
- ◇生徒は興味をもってNPOの話を聞いていた

参加NPO

- ◇高校生を地域活動に巻き込む可能性を感じることができた。機会の提供と繋がるきっかけとしては、有効に活用できると思う
- ◇災害に備える必要性を学生が感じて、避難所で自分たちが戦力になる事を知ってもらう事ができたと思う。今回のプレゼンをきっかけとして家族で災害の備えについて話し合う機会になったと言ってもらえた事が嬉しく、また啓発の活動の必要性を感じた。
- ◇プレゼン研修によって、団体の活動紹介が要点を得てまとめることができ、聞く人に伝わるポイントを学ぶことができた。今回の事業で得たノウハウを、今後団体の活動を広報する際に活かしたい。
- ◇生徒からは「子どもたちだけでなく、関わるスタッフも居心地のよい場所になっていると思った」と率直な意見を聞くことができて良かった。

参加NPO協賛金 活用状況

若者市民協働意識醸成事業「学！コラボ2022」協賛金活用状況報告

団体名	NPO法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク
URL	http://www.f-school.jp/nobasukai
協賛金額	30,600円

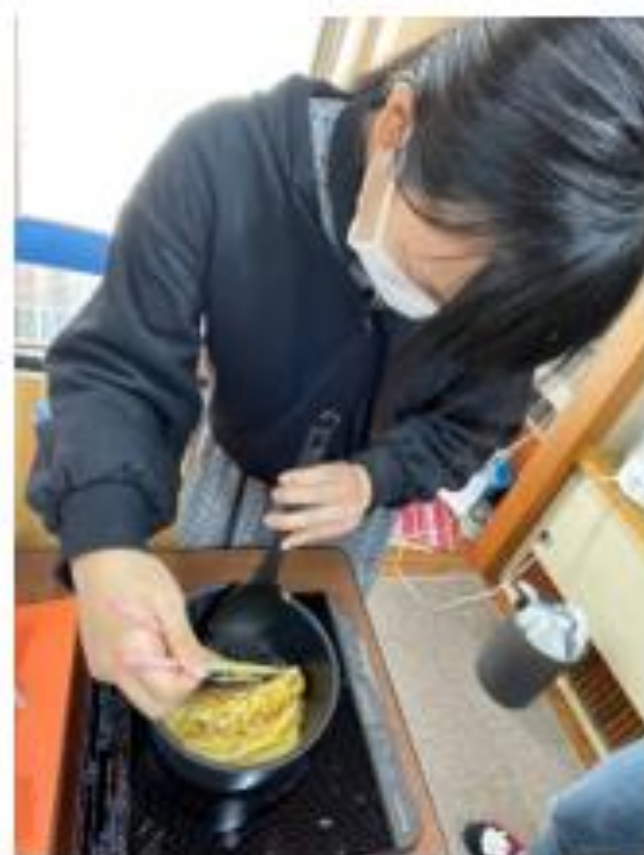
活用目的

新たに使用可能となった部屋で、相談活動、親の会、OB・OG会など多様な活動場所として予定しており、今回の協賛金を活用し、OB・OG会で簡単な調理ができる環境整備として、食器棚を購入します。

活用状況

OB・OG会にて昼食作りの様子

のばす会卒業生の居場所として、OB・OG会を毎月予定しており、そこで昼食やおやつ作りをする調理体験と食事の機会を得ながら、卒業後も集える場となっています。



卵焼き作り



炊き込みご飯と卵焼き(左)・豚汁(右)

今後の活動に向けたメッセージ(抱負など)

今回の事業によって、高校生と協賛企業様から応援していただいた価値ある協賛金を有効的に活用させていただきます。団体の活動をこれからも継続し、必要としている方の居場所作りを引き続き行っていきます。

若者市民協働意識醸成事業「学！コラボ2022」協賛金活用状況報告

団体名	雁宿小学校避難所運営委員会
URL	—
協賛金額	23,000円

活用目的

災害時に雁宿小学校の避難所を開設・運営する地域住民が、スムーズに活動するためのマニュアルや資機材を保管するため、壊れにくいBOXの購入費用として活用していく。

活用状況



雁宿小学校避難所運営委員会では、マニュアル・資機材を入れるためハードコンテナを5～6台準備する予定です。壊れにくいタイプの中がみえる半透明のコンテナBOXを協賛金で購入します。

今後の活動に向けたメッセージ(抱負など)

災害は、いつどこで起こるのか分かりません。しかし、いざという時にお互いが協力し、助け合いながら発災後に生活を立て直していかねばなりません。少しでも、その際にスムーズに避難所の開設・運営が行えるように、災害の啓発活動と訓練を実施していきます。今回、頂いた協賛金を有効に使っていきたいと思います。そして、高校生の皆さんも、避難所の開設・運営時には大きな戦力になるという事をぜひ意識して欲しいと思います。貴重な機会を与えていただきありがとうございました。

若者市民協働意識醸成事業「学！コラボ2022」協賛金活用状況報告

団体名	ハンダーFOX製作委員会
URL	http://kwa.sakura.ne.jp
協賛金額	¥6,400

活用目的

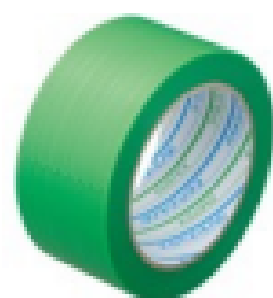
衣装メンテナンス用および、現場用で使用するための消耗備品を購入致します。

活用状況



○ファブリーズ

衣装使用後の消臭で使用します。



○養生テープ

舞台のパミリ、その他あらゆる用途で使用します。



○Gボンド等の接着剤

衣装補修用で使用します。

今後の活動に向けたメッセージ（抱負など）

当団体は今年で活動10年を迎えました。次の10年も地域をよりよくしていく活動を継続していきます。応援よろしく申し上げます。

若者市民協働意識醸成事業
「^{がっ}学！コラボ2022」
フィールドワーク

「学！コラボ2022」フィールドワークとは

高校生が身近な地域で課題解決のため活動している市民活動団体を知り、理解し、共感することで、若い世代の協働意識や社会参画・貢献意識の醸成を図る「学！コラボ2022」を開催しました。

その2回の授業で学んだ一部生徒が、自分が投票した団体の活動現場に行き、実際に体験することでより一層理解を深めてもらうねらいでフィールドワークを実施しました。

1.「学！コラボ2022」フィールドワーク開催概要

- (1) 開催日時：2022年12月16日(金) 13時30分～15時45分
 (2) 参加者：半田商業高等学校「学！コラボ2022」参加者 19名

＊詳細は下表参照

場所	受入NPO	体験内容	高校生人数	団体人数
半田市市民交流センター	ハンダーFOX製作委員会	・ストレッチやアクションレッスン（パンチやキック）の基礎練習 ・アクター、音響、アナウンスに分かれ、生徒自身で考えた半田商業高等学校の魅力を発信するヒーローショーを実施	3名	3名
	雁宿小学校避難所運営委員会	・防災に関する説明、避難所運営ゲーム説明 ・避難所運営ゲームを生徒+スタッフで実施。避難所に来る人や出来事が書いてあるカードをスタッフが読み上げ、半田小学校の見取り図を見ながらどこに配置していけばよいか時間の経過とともに模擬的に避難所の運営を行う	6名	3名
アイプラザ半田	NPO法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク	・実際の活動現場を訪問 ・当日出席していた児童が学習をしている様子を見学し、プレイルームとなっているもう一部屋で代表はじめスタッフから活動内容などを詳しく聞いた	10名	5名
		計	19名	11名

(3) 体験の様子

ハンダーFOX製作委員会

生徒感想

「おもしろく地域の魅力を発信することは良いことだと実感した、自身も同様な活動をしたい」

ヒーローショーが地域課題解決にどのように関係しているのか、団体が上手に生徒へ伝えることができおり、市民活動の啓発につながっていた。



【ヒーローショーの製作体験】

雁宿小学校避難所運営委員会

生徒感想

避難所運営ゲームをしていく中で、スタッフから「どのようなものか」「なぜ必要なのか」など具体的に教えてもらったことで、進めることができた。

ゲームということで危機感、切迫感をあまり感じない中ではあったものの、多様な避難者が一度に来た場合の素早い判断・対応が求められることに、身をもって難しさを実感していた。



【チームで避難所運営を模擬体験】

NPO法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

生徒感想

「長期休みの期間はどのようにしているのか?」「どの地域の児童・生徒が訪れるのか?」などの質問に対してもひとつひとつ丁寧に回答していただいた。
「スタッフとして活動してみたい」

この活動を身近な誰かに伝えたり、近くで思い悩む子がいれば伝えてほしいとの話があり、生徒にもはじめの一步として活動を「知る」「伝える」という部分の意識醸成が出来た。



【活動の現場を見学】

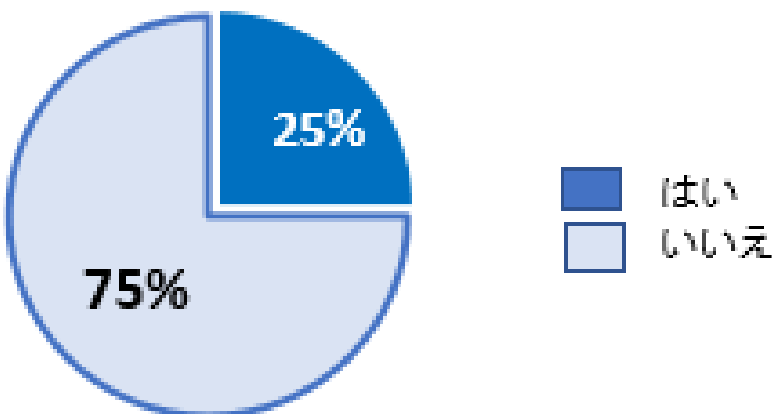
若者市民協働意識醸成事業
^{がっ}
「学！コラボ2022」
アンケート

学！コラボ2022 アンケート結果

◇対象：愛知県立半田商業高等学校 2年生 48名

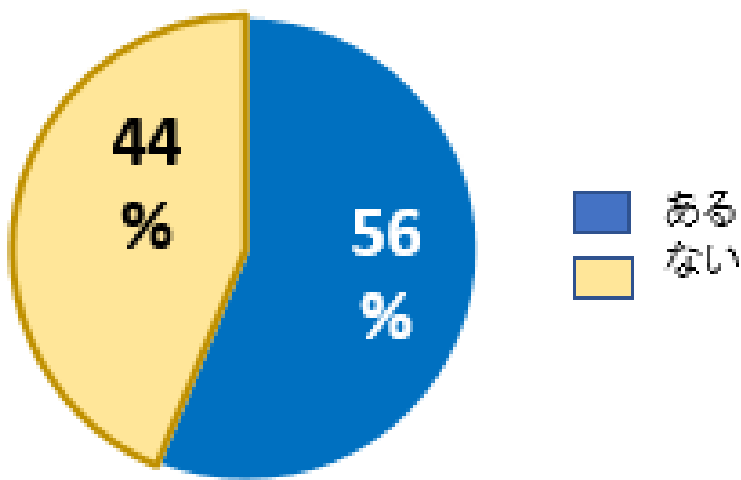
1. 地域環境や社会課題に取り組んでいる市民活動が、身近にあることは知っていましたか？

はい	12名
いいえ	36名



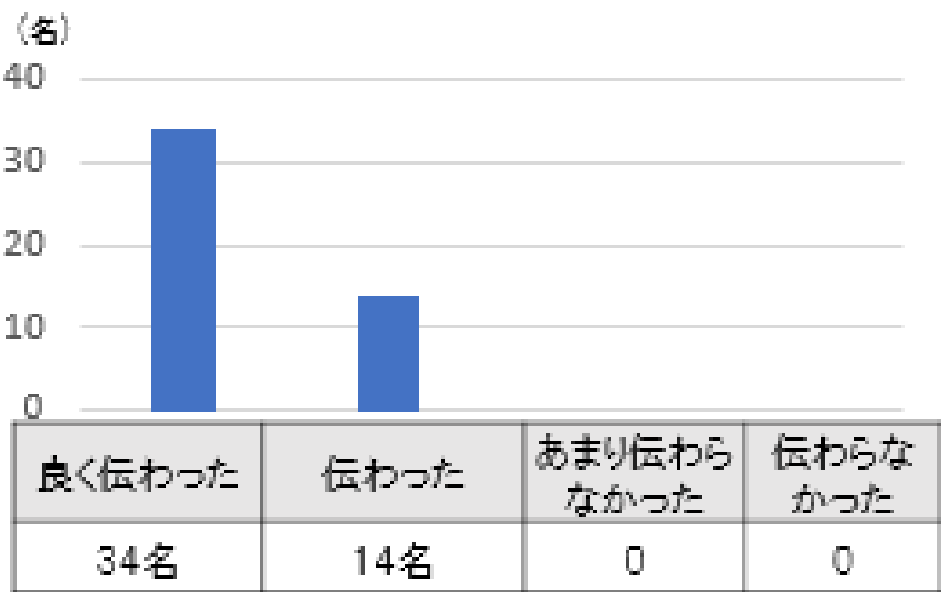
2. これまでに、地域の草刈り、ごみ拾いなどの地域活動や募金などの社会貢献活動に参加したことはありますか？

ある	27名
ない	21名

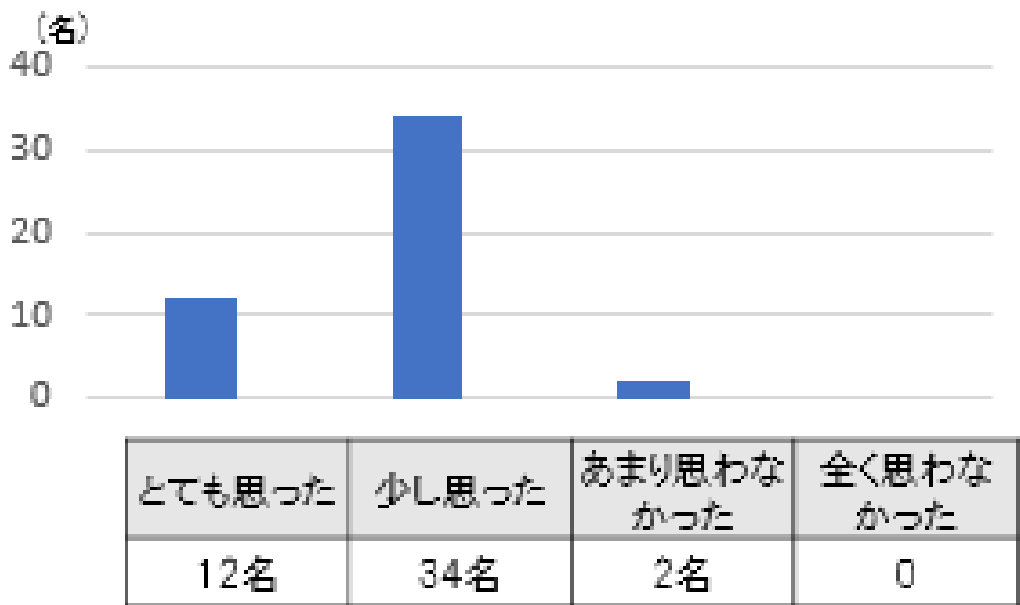


社会貢献活動	人数	社会貢献活動	人数
ゴミ拾い	8	空地の草刈り	1
草刈り	6	公園の草刈り	1
募金	4	資源回収	1
ゴミ0運動	2	赤い羽根	1
駅のロータリー花植え	2	川の掃除	1
クリーンキャンペーン	1	浜辺のゴミ拾い	1
ボランティア	1	避難訓練	1
学校の草刈り	1	保育児の見守り	1
		記載なし	2

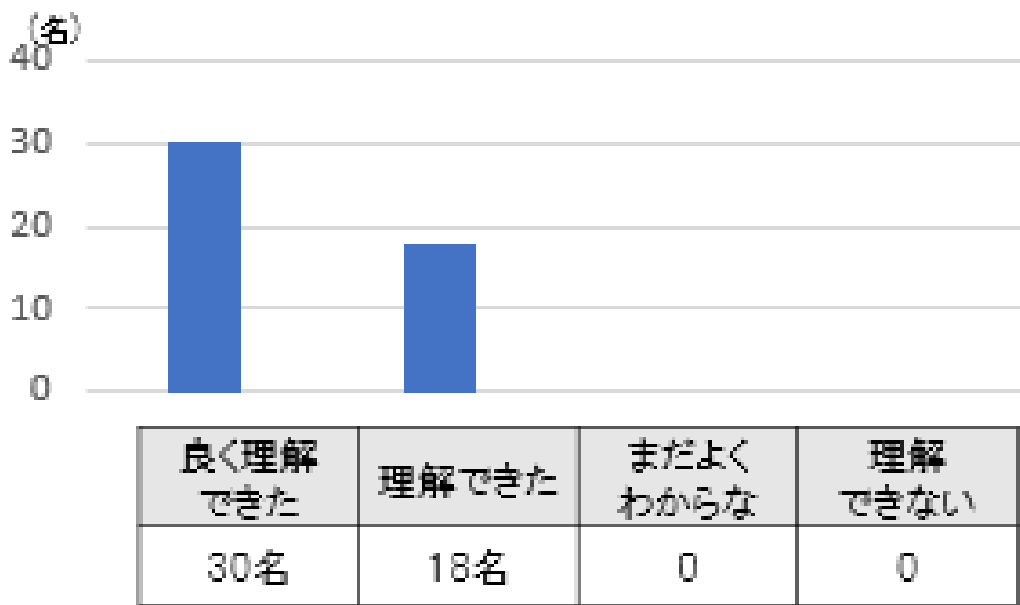
3. 今回の市民団体のプレゼンで、活動の内容が伝わってきましたか？



4. 自分も何らかの形で地域貢献や社会貢献活動へのActionを起こしてみたいと思いましたが？



5. 社会貢献や協働(住みよいまちづくりのための活動を行う様々な団体や組織が、一つの目標に向かって、それぞれの得意分野を生かして、力を合わせて活動すること)について、理解が深まりましたか？



半田市若者市民協働意識醸成事業

がっ
「学！コラボ2022」 事業実施報告書

2023年2月

主 催：半田市企画部市民協働課

受託団体：特定非営利活動法人中部プロボノセンター